

令和7年度 第3回（第8期第2回）新宿区産業振興会議 議事要旨

【日 時】 令和7年12月24日（水）午後3時～5時

【場 所】 B I Z新宿（区立産業会館） 研修室A

【出席者】 委 員：植田、遠山、長山、笠井、則竹、志村、中村、富田、平山、癸生川、塩月、各委員
事務局：村上文化観光産業部長、内野産業振興課長、黒川産業振興係長、前田産業振興主査、
山本主任

【欠席者】 なし

【傍聴者】 なし

【配布資料】 省略

【内 容】

1 開会

2 議事

（1）創業支援について

資料1～7に基づき、事務局より説明した後、委員による意見交換を行った。

（2）平成28年度産業実態調査と現行の産業振興プランについて

資料8～10に基づき、事務局より説明した。次回会議以降、令和8年度に実施する産業実態調査について検討を行う。

3 主な発言内容（創業支援について）

- ・高田馬場創業支援センターについて、設立当初と比べ、民間インキュベーション施設が増加している現状を踏まえると、ハード面での役割は相対的に低下している。一方で、相談やセミナー等のソフト面については、B I Z新宿に集約して実施することで、区民にとって不利益にはならないと思う。
- ・ソフト面の取組として、一般企業とのコラボやもう少し規模の大きい交流会など、「新宿らしさ」が可視化されるようなアイデアを検討したい。
- ・高田馬場創業支援センターは、設立から施設としての最新テクノロジーや設備がアップデートされているわけではないため、年々非能率的になっているのではないかと。
- ・高田馬場創業支援センターは、設立以降一定の成果を上げてきたといえる。しかし、既に「経営サポート事業」を実施しているB I Z新宿との機能統合や拡充を検討すべきだと思う。
- ・創業支援全体をどのようなビジョンのもとでロードマップを描き、区民に対して明確に発信していくのが重要であり、それを実現できる外部キーマンの参画を得ることで相乗効果が期待できる。
- ・高田馬場創業支援センター入所者選定に関わってきた立場からは、設立当初は倍率が高かったものの、近年は応募者が減少している。IT・AI分野をはじめとして、ブランド構築を目的として新宿区に拠点を求める事業者が多い中、新宿に集まった事業者が事業として成立することを示すことが重要であり、そのためには単に住所が置ける施設提供ではなく、交流会やネットワーク形成などのコミュニティづくりを重視したほうがよい。
- ・新宿は創業に恵まれている環境だとは思いますが、創業しやすいまちであることをもっとアピールすべきである。都が認定している民間インキュベーション施設と連携するようなイメージができれば、創業するなら新宿でという形になっていくのでは。
- ・施設は経年劣化していくものであり、民間インキュベーション施設が増加している現状では、高田馬場創業

支援センターは、施設機能の面において民間との競合で厳しくなっていると思う。また、価格面では安価ではあるが、これは民業圧迫になるのではないかと。

- ・高田馬場創業支援センターは確かに民間インキュベーション施設に比べて安価になっているが、福祉施設等と違い、創業者は価格ではなく施設の充実を求めているはず。
- ・民間インキュベーション施設と連携する仕組みを構築し、そこに入居する事業者のプロモーション等を支援することで、新宿で創業することのメリットや波及効果が生み出せるのではないかと。
- ・経営者は孤立しやすい側面があることから、課題や悩みを共有できるコミュニティ形成を支援することが、施設を保有する以上に、創業支援における区の魅力向上につながる。
- ・スモール型創業や第二創業への支援は、既に区が実施している「経営サポート事業」に含まれる要素も多く、高田馬場創業支援センターで担うよりも、BIZ新宿に集約し、発展的に継承することで中小企業のライフサイクル全体を支援できるようになる。
- ・民間インキュベーション施設が増えていることで、高田馬場創業支援センターの魅力が低下しており、区の資源を新しい方向に向けていく必要がある。
- ・ハード面は民間インキュベーション施設の増加により、区としてあえて同じような施設を持つ必要はない。高田馬場創業支援センターの廃止により、入居者や卒業者間のコミュニティを保つため、その代替となる仕組みを検討する必要がある。また、ハード面に付随するソフト面については、BIZ新宿に集約することで、経営支援とのシナジー効果も期待できるが、具体的な創出方法については、今後検討を深める必要がある。

4 まとめ

産業振興会議として、以下のとおり確認がなされた。

- (1) 高田馬場創業支援センターは、廃止が適当である。
- (2) 高田馬場創業支援センターの廃止に伴い、同センターが担ってきた施策や機能は、BIZ新宿で発展的に継承し、BIZ新宿を創業支援の拠点として多様な施策を展開していく必要がある。具体的な施策の内容等については、今後の産業振興会議において検討する。

5 次回日程について（予定）

産業振興会議

日 時：令和7年2～3月

会 場：BIZ新宿

6 閉 会